

# 踏抜き転落撲滅プロジェクト

## 1. 管理部署の明確化と現場表示の徹底



**許可者以外立入禁止**



**踏み抜き、墜落・転落の危険あり！！**

**立入条件：連絡先の許可  
および立入前点検**

**管理部署：〇〇部  
連絡先：〇〇〇(TELOO)**

**使用用途：点検**

**堆積物：〇〇**

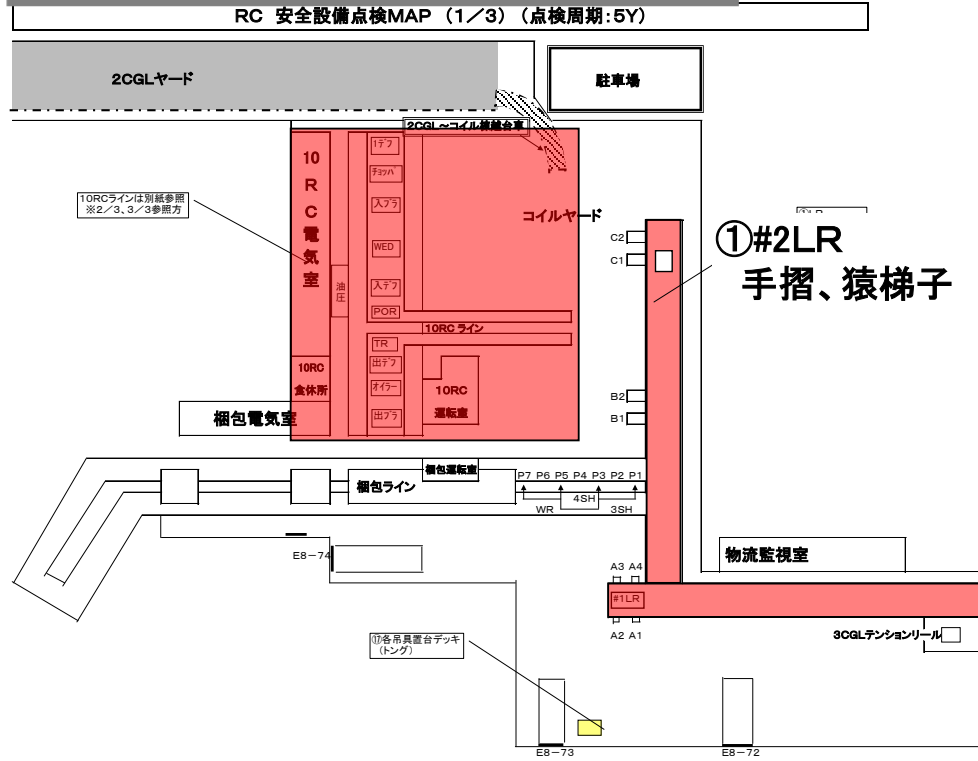
**点検日：**  
定期点検済  
点検日：〇年△月×日  
〇〇部

ステッカー  
(定期点検時に更新)

**立入り条件、管理部署  
点検状況の「見える化」**

標識取り付け例

## 2. 管理マップ及びリストの作成



歩廊・デッキ・手摺点検及び要補修リスト

【職場名：10RC】

No.	設備名	設備管理	点検頻度	区分			看板有無	前回点検	点検日	点検者		劣化部位	劣化度 Aランク Bランク Cランク	通行頻度 大 中 小 なし	被災程度 強 中 弱	劣化評価	補修ランク	看板完了日	
				常時立入り場所	立入る頻度が少ない場所	立入るべきでない場所				立入るの無い場所	工場								保全
1	#2L/R	機械	5Y		○			2012.9.5			○	C					C		
2	油圧設備	機械	5Y		○			2012.9.5			○	C					C		
3	入側コイルカー設備 (ビット含む)	機械	5Y		○			2012.9.5			○	C					C		
4	POR設備	機械	5Y		○			2012.9.5			○	C					C		

**管理マップ及びリストで点検周期、管理部署、  
補修進捗を管理し「見える化」**

# 踏抜き転落撲滅プロジェクト

## 3. 点検方法/ 頻度の標準化



①



②



③

- ・ハンマーを持った手が顔の位置にくるように振上げる
- ・ハンマーの柄が垂直になるように持つ
- ・そのまま振り下ろす
- ・打撃部から目線を離さない
- ・打撃部の状態を確認する

ランク	評点	目視のみ	1ポンドハンマー	4ポンドハンマー
A	3	<p>錆が浮いている状態</p>	<p>打診結果 穴明き大</p>	<p>打診結果 打ち抜き</p>
B	2	<p>錆が浮いている状態</p>	<p>打診結果 穴明き小</p>	<p>打診結果 打ち抜き</p>
C	1	<p>健全な状態</p>	<p>打診結果 凹み無し</p>	<p>打診結果 凹み発生</p>

誰がやっても同じ結果になるように点検方法の「見える化」で規定を統一

# 踏抜き転落撲滅プロジェクト

## 4. 整備計画及びフォロー

項目		評点	内容
通行頻度	大	4	(1)常時通行者あり、(2)出退勤ルート、(3)迂回なし、立禁困難な場所
	中	3	(1)週1回の通行者、(2)点検・清掃・修理時に通行、(3)迂回あり
	小	2	(1)スポット的に異常発生時のみ立入る場合あり、(2)迂回あり
	なし	1	(1)休止、不要設備、(2)迂回ルートあり
被災程度	強	3	重大災害が想定される場所
	中	2	休業災害が想定される場所
	弱	1	不休・微小災害が想定される場所
補修ランク			<p>当該リスク箇所について、劣化度(3段階)、通行頻度(4段階)、想定される災害の程度(3段階)において点数評価を行い、乗算の結果を用いて補修ランクの優先順位付けを行う。</p> <p>(1)補修ランクⅠ：<math>\geq 27</math>、立禁処置後、速やかに実施  (2)補修ランクⅡ：<math>\geq 18</math>、立禁処置後、6ヶ月以内に実施  (3)補修ランクⅢ：<math>\geq 8</math>、立禁処置後、1年以内に実施  (4)その他：次回点検まで経過観察</p> <p>例)劣化度:A、頻度:大、程度:強<math>\Rightarrow 3 \times 4 \times 3 = 36 \Rightarrow</math>ランクⅠ</p>

劣化評価だけでなく、通行頻度・踏抜いた場合の被災の程度を指数化し、補修ランクを決定。優先順位の明確化とリスク低減の進捗フォローの「見える化」を実施